



厳しい冬を克服し

自然と友だちに

ことして2回目をむかえた「雪像祭り」が、旧鷹巣小学校の分館広場で行われ、鷹巣地区子供会から28団体400人参加しました。製作は1月19・20日に集中。父母と子供たちはスコップを手に「筋肉マン」や「コアラ」などの人気ものを題材にした雪像を仕上げ、ともに完成を喜びあっていました。最終日にはモチつきを行うなど、厳しい冬を克服し自然と友だちになるようにと、楽しいひとときを過ごしていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

12月31日現在	(前年比)
総人口 25,175人	(15人増)
出生 24人	転入 35人
死亡 11人	転出 33人
男 12,247人	(10人増)
女 12,928人	(5人増)
世帯数 7,295世帯	(1世帯増)

第三期山村振興農林漁業対策事業で

小ヶ田生活改善センターが完成



湯車川の河川改修と農地の基盤整備も

小ヶ田地区では、農地の基盤整備事業と湯車川の改修事業に併せて、集落のコミュニケーションの場生活改善センターを建設していましたがこのほぼ完成。一月九日喜びの竣工式を行いました。

小ヶ田地区では、耕地が未整理と、湯車川の氾濫で稲作に被害を受けることが多かったことから、農地の基盤整備と河川改修が求められていました。

このため町では、団体営土地改良事業で、五十七年から五十九年の三カ年にわたって、八十畝の基盤整備事業を実施。三〇〇区画の立派な圃場が完成し、三十三戸の農家平均の反別は多い方となりました。

一方、湯車川の改修

事業は五十七年に町単事業で行われ、その後災害復旧で工事が進められ、暴れ川の汚名が返上されました。

また、小ヶ田地区では、これまでの会館が手狭まになつたことから、第三期山村振興農林漁業対策事業で生活改善センターを建設していましたが、町内六つめの生活改善施設としてこのほど完成しました。

同センターは、千三百平方メートルの敷地に木造平家建てで、総床面積百七十・〇六平方メートル。主なものは、会議のできる集会室が七十二・八七平方メートル、生活改善の学習ができる和室の研修室が十九・八七平方メートル、調理実習室が二十八・一平方メートルなどとなっております。

工事費は、建築費が千四百九十五万円、設計管理費五十九万三千円、ストーブ、テーブル、イスなどの備品費は七十五万円、合計千六百二十九万三千円です。

負担内訳は、国庫補助金、町費半々となっております。

小ヶ田生活改善センターの完成によって、同地域の親睦が深められると同時に、農林業の振興や生活改善、社会教育、健康管理などの学習の場に活用できることになり、関係者から喜ばれています。

■(日) 電線地区新春懇談会が葛黒林業センターで開催された。新春早々の恒例行事で、この地域の産業、教育文化、福祉等の充実を求めて、町行政に要望、提言が主。毎年百人以上が参加。今回も活発な意見、要望が展開された。

■(金) 官公庁の一斉仕事始め。この日役場で全職員を集め、年頭のあいさつ。その後消防出初式、交通指導隊の視閲を行い、無火災、無事故を祈念した。火災について、従来の発生源は煙草火の不忘



町長日誌

出川禮一

1月3日～12日

り返り一大飛躍の年としたい」とあいさつを述べた。

■(月) 鷹巣建設技能組合定期総会。住宅建築等の落ち込みもあり、会員数も多少減少した。「座して請負や注文を待つことなく、自から出向いて仕事を造れ」と励まし、また「即成品の資材を組み合わせた貼り貼ることをさけ、きめ細かな手造りのよさで投下労力をふやせ」と祝辞を述べた。

■(火) 地域の農業に活力を与えるため農業振興懇談会が開かれた。

■(水) 小ヶ田に生活改善センターが竣工した。昭和四十四年に建築の児童館は手狭となり、今回は第三期山村振興事業の適用を受け、地元(三六戸)で十三畝の用地を取得造成し、五百万円の地元負担で完成(床面積百七平方メートル、工事費一、六三〇万円)した。地元の熱意を高く評価し、充実ある活用を訴えた。

■(土) 沢口地区自治会長会による町長と語る会が、沢口林業センターで開かれた。

末、子供の弄火が主であったが、昨今は世相を反映し、失火とか不審火が多い。消火人のみでの無火災は到底至難、町民一人ひとりの火気取り扱いに一層の注意を喚起したい。

■(日) 商工婦人部の主催で新春交流会が中央公民館で開かれ、約二百五十人が出席した。「ことは、大東亜戦争終結四十周年、鷹巣町制施行八十五周年、町村合併三十周年と、本町にとっては記念すべき年であり、歴史を振

大雪と寒波に注意しよう

屋根の雪は六〇センチで赤信号

多発している雪おろし転落事故

ことしは、暖冬予想をくつがえして、連日の大雪と寒波に見舞われています。

積雪量も一月十七日現在で六十センチと、豪雪であった昨年(最深積雪は百十七センチ:三月三日)にせまる積雪量を記録しており、今後さらに降雪が予想されます。

日常生活における雪害防止のため、とくに次の事項に注意してください。

■家屋の雪おろしの徹底と雪おろしによる事故防止について

▽建物の屋根の積雪は、六〇センチになると赤信号です。

▽当町で多発している雪おろしの際の転落等事故防止のため、命綱をつけ二人以上で作業をするように、また屋根雪の自然落下による事故防止にも注意してください。

▽雪おろし後は、避難箇所の確保、煙突やガスボンベの配管などの点検をしましょう。

■冬期間の火災予防

▽冬期間は、積雪、凍結等のため消防活動に支障をきたす恐れがありますので、火の取り扱いに注意しましょう。

▽各地区における消防水利の確保に協力してください。

▽幼児や老人、身体の不自由な病人は避難しやすい場所に就寝させましょう。

■雪崩などの危険箇所の点検

▽地域内に雪崩等の災害発生の危険がある場合は、地域内に周知させるとともに役場福祉係へ連絡してください。

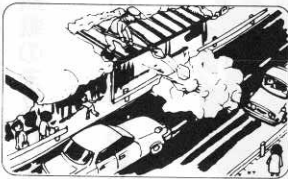
■猛吹雪など悪天候時の老人、婦女子の単独外出や過度の飲酒

歩行は避けてください。

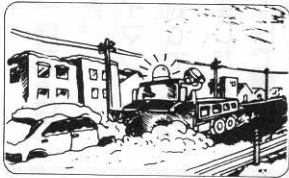
■冬期間の交通安全

▽冬道は視界が悪いうえ、路面凍結によるスリップ事故が多発します。車の運転は安全速度を守る。カーブの手前での減速・歩行者の行動に注意するなど、安全運転で事故防止にこころがけてください。

▽子供の道路での雪遊びはとくに危険です。みんなで注意しましょう。



交通事故防止のため
道路への雪出し
はやめよう



路上駐車を
やめよう

沢口地区の『町長と語る会』



沢口地区の「町長と語る会」は、一月十二日午後一時半から沢口林業センターで行われました。

当日は、各集落の自治会長や団体長など二十人余りが出席。住みよい地域づくりのために要望、意見が出されましたが、町長から誠意ある答弁がなされました。

主な内容は次のとおりです。
▼小森・比内線のバス運行について:五十五年度に地元か

ら要請があり、町でも陳情している。昨年度からは比内と共同で要請している。

▼石倉山スキー場に補助してほしい:今後、具体的な計画があれば援助したい。

▼ゴミ埋立地に通じる道路を整備してほしい:現在の路線を変更したい。

▼企業誘致と南部地区の開発促進について:土地を取得するためには、地価が安く公害苦情の心配のない場所がのぞましい。

▼と畜場周辺のクラス対策は:と畜の臓物置場に金網をはりたい。

▼林業センターのステージの増設およびホールのかさあげ:ホールのかさあげは構造上できない。

▼自治会活動に助成を:不可能だ。

▼中央公園からの排水路整備について:橋までの曲折を直すようにしたい。



東レ対旭化成は、豪快な力と技の対決



旭化成の三級ブロック



▲華麗なジャンピングサーブ

こととして八回目をむかえた全国実業団バレーボールリーグ鷹巣大会は、一月二十日午後一時から鷹巣体育館で開催。千三百人の観衆で館内は沸きかえりました。女子の三洋電機対ダイエー戦では、ダイエーが米国のロス五輪代表のハイマン、クロケットに、モントリオール五輪代表のセッター松田紀子を駆使して、3対0で楽勝。男子は、鷹巣に顔なじみの多い東レ九隣会と旭化成旭陽会の対戦となりましたが、ともに日本リーグ入りをめざす強豪だけに息づまる一戦。熱戦の末ストレートで東レが勝ちました。

いずれの試合も、スパイク、フェント、時間差攻撃、ブロックなど多彩な攻防が展開され、バレーボールファンを魅了しました。

おしらせ

農業委員会委員

選挙人名簿縦覧

選挙管理委員会では、毎年選挙があるなしかかわらず、農業委員会から送付された有権者の申請書に基づいて、農業委員会選挙人名簿を二月二十日まで作成します。

縦覧期間は二月二十三日から三月九日までです。確定は三月三十一日です。その後一年間据え置いて、その期間内に行なわれる農業委員会委員の選挙に用いられる定時名簿ですから、有権者の方は登録漏れ等のないよう従覧してください。

場所は選挙管理委員会事務局（役場二階）です。

※詳しくは選挙管理委員会（六二—一一一内線二四五）へお問い合わせください。

建設工事入札資格

審査申請書を受付

昭和六十年度において、町で実施する建設工事の入札参加資格についての資格審査の申請を、二月十五日から三月三十一日まで受け付けます。

町内の業者で、建設業として

登録を受けている方で、建設工事入札資格を希望する方は、所定の申請書に町税の納税証明書添付のうえ、町長あて提出してください。

申請用紙は、役場企画財政課で一式五百円で交付しています。



〔道路改良工事〕

▼工事場所〓綴子字エゾゲド地内
▼請負額〓二千九百万円
▼請負者〓秋田機械建設・知野次郎

▼工事場所〓綴子字松原谷地内
▼請負額〓九百五十万円
▼請負者〓丸栄建設・山内千代治

▼工事場所〓綴子字上町
▼請負額〓五百三十万円
▼請負者〓板倉建設・板倉七郎

※工事期限はいずれも三月二十日

日

〔中岱都市下水路工事〕

▼工事場所〓鷹巣字西柳岱地内
▼請負額〓六百三十万円
▼請負者〓大川建設・大川仁吉郎

▼工事期限〓三月十一日

〔側溝改良工事〕

▼工事場所〓綴子字掛泥地内
▼請負額〓七百八十万円
▼請負者〓村昭組・村上昭二

▼工事期限〓三月一日

〔公共土木施設災害復旧工事〕
▼工事場所〓栄字重三郎谷地

バレーの町鷹巣町に

クロケット



▶クロケット（ダイエー）のスパイクが決まる

ことしは町村合併三〇周年 30年の歴史を

二十一世紀の町づくりに 生かそう



米国からの助っ人クロケット
（右）とハイマン（左）



▲中学生は試合前に昼食を……

体育指導委員長・三沢氏が全国表彰



十二年まで委員、五十年から委員長として、当町の社会体育の振興に尽力されました。この間、四十一年の社会体育モデル公開では、地域のスポーツ活動が全県に紹介されるなど、スポーツの町として定着させました。

町体育指導委員長・三沢孝一氏は、このほど全国体育指導委員連合会長表彰を受けました。同氏は昭和三十八年から四

また、日独スポーツ交流会や常時スポーツ活動の場を提供するなど、スポーツ人口拡大と町民の健康増進に大きな役割を果たしました。

- ▽請負額〓五百八十万円 ▽請負者〓長岐建設・長岐六郎
- ▽工事場所〓前山字湯の沢 ▽請負額〓七百八十五万円 ▽請負者〓北秋建設・渡辺昌
- ※工事期限はいずれも三月十五日
- 〔橋梁維持工事〕
- ▽工事場所〓坊沢字十六綱 ▽請負額〓七十二万円 ▽請負者〓沢木建設・沢木和雄 ▽工事期限〓二月十九日
- 〔河川災害復旧工事〕
- ▽工事場所〓栄字古尾敷下地内 ▽請負額〓八十八万円 ▽請負者〓小猿部建設・関竹雄 ▽工事期限〓二月十八日
- ▽工事場所〓脇神字大沢境地内 ▽請負額〓二百七十万円 ▽請負者〓芳賀工務店・芳賀喜行
- ▽工事場所〓脇神字奥小ヶ田一号 ▽請負額〓六百四十八万円 ▽請負者〓鷹巣土建工業・河田重夫
- ▽工事場所〓脇神字奥小ヶ田二号 ▽請負額〓五百十万円 ▽請負者〓石川建設・石川徳治
- ▽工事場所〓脇神字奥小ヶ田三号 ▽請負額〓百五十万円 ▽請負者〓丸秋建設・近藤秋男
- ▽工事場所〓今泉字牛坂二号 ▽請負額〓二百七十万円 ▽請負者〓朝日建設・小林正蔵
- ▽工事場所〓今泉字牛坂三号 ▽請負額〓二百六十三万円 ▽請負者〓千葉建設・千葉勲
- ※工事期限はいずれも三月二十日

うますぎる

金取引きには裏がある

「金の現物まがい商法」に注意

「絶対にもつかる」——の甘い言葉で、最近、急激に増えているのが一般消費者の、金の取引きによる被害です。金は財産価値が高く、昔から蓄財の手段に利用されてきました。悪質業者は、金に関する経験、知識の乏しい主婦やお年寄りを狙って言葉たくみに勧め、揚げ句の果ては大損。もうけ話には、注意しましょう。



増える悪質な

金取引き

金はその優れた性質から、エレクトロニクス関連の工業用などになくてはならないものです。また、わが国は世界有数の金の消費国ですが、一般消費者の金への関心も、金の取引きが自由化になって以来高まり、新聞に

取引価格が毎日、載るようになりまし。それだけに金を取り扱う業者も増え、悪質な手口で勧誘するトラブルは増える一方です。

金の現物まがい商法の

手口はこれだ

金の取引きで、もっとも注意が必要なのは電話による勧誘です。

たぐさんのアルバイトを雇い、無差別に、電話で金地金の購入を勧めます。少しでも関心を示すと、営業マンが飛んで来ます。

「お買いいだいた金の現物は会社で預かり、外国の銀行に貸し付けます。預けていただければ、一年契約で一割の配当を前渡しします」と、うまい話を持ち出してきます。

半信半疑、営業マンに連れられ

れ会社に行くことと応接室に通され、スーツケースにつまった金地金を見せられる——圧倒されて言われるまま、契約書に「もった」と夢心地でサイン。

こうして金を買うつもりだったのに、買ったのは、契約証書。それも契約内容を十分に理解しないままサインというケースが大半で、後になってトラブルのもとになります。

なかには、定期預金を解約させられ、それも営業マンが銀行まで同行し、下ろした預金でその場で契約させられた例もあります。

このように、買ったのが金ではなくて、一枚の契約証書といった悪質な商法は「現物まがい商法」といわれています。

なかなか

途中解約させない

問題なのは、その後です。満期がきて金地金の現物を要求すると、また営業マンが出向いて来て、あれやこれやと強引に契約更新を勧め、結局は、強引さに負けて契約を更新してしまうはめになります。

契約後、嫌気がさしたり不安になって中途解約を申し出ても、なかなか応じてくれない。できても、契約書には細い字で「三〇%の違約金と、契約当初に前

渡しの一〇%の配当金の返還」が明記されていて、それらを要求されます。知らなかったと言っても後の祭りです。

蓄財の目的で買うはずの金、実際には一度も金を手にすることなく、最終的には三〇%の違約金を取られるのでは泣くに泣けません。

狙われる

お年寄りや主婦

悪質業者が狙うのは、金取引きの知識のあまりないお年寄りや主婦です。

電話で勧誘を受けたとき、有名な商社や銀行によく似たまぎらわしい社名に、うっかり信用しがちですが、信頼できる店舗は、絶対に見知らぬ相手に電話で金の取引きを勧誘することはしません。金は長期的に見れば確かに蓄財に適しています。しかし、短期的に見ると、その価格変動は国際的な市場の動向に激しく左右され、専門家でも予測は難しいとされています。金を買って利殖を図るなど、そう簡単なことではありません。金の購入は信頼できる店舗で、現金と引換えに現物を受け取る——そうすることが悪質業者を締め出すことにつながるのです。

2月17日(日)は町民スキー大会

■ 場所・町営薬師山スキー場

■ 日程・開会式…AM9:00 競技開始…AM9:30

終了…PM2:00

■ 種目・年代別に大回転、距離種目があります

■ 申し込み・

2月4日まで地区公民館あて

■ 問い合わせ・鷹巣体育館へ (☎62-3800)

みんなで続けよう

「花いっぱい運動」を

鷹巣町花いっぱい運動推進協

議会では、インターハイだけの

「花いっぱい運動」に終らせな

いで、今後も継続して町を花で

飾り、うるおいのある町づくり

をすすめようと、このほど協議

会を開き、次の点を確認し合っ

ました。

◆確認事項◆

▼各地区花いっぱい運動推進協

議会が中心となって、「花いっ

ぱい運動」を推進する。

▼各層（老人・婦人・青年・子

供会）が協力し、地域ぐるみで

この運動を推進する。

▼公共施設、道路花だんを重点

とする。

▼花づくり講習会を実施して、

誰れでも出来るように技術を習

得する。

▼種子代等の若干の援助は事務

局とするが、自分たちの住んで

いる地域をきれいにする精神と、

ボランティア活動をすすめる継

続事業とする。

（2月・3月） 花づくり講習

会。種子の配布。各地区推進協

議会を開いて、住民に主旨の徹

底をはかる。

（4月・5月）

播種作業

＝町・県民税申告相談日程表＝

月 日	申告会場	申 告 相 談 時 間	
		午前9時～正午	午後1時～午後4時
2. 4 月	役場大会議室	大町、花園町、米代町	元町
5 火	//	川口、松葉町	住吉町、旭町
6 水	//	材木町、東横町、宮前町	伊勢町、内幸町、幸町
7 木	//	◎税務署課渡のお訪ね（税務署からの通知書）	
		あけぼの町、湯車、小ヶ田、東上網、下家下、綴子字掛泥向、西屋敷、北家後、西上網	舟見町、新舟見町
8 金	南鷹巣会館	南鷹巣30区～33区 西陣場岱	舟場、高村岱、高森岱
9 土	小田会館	松原、田子ヶ沢、小田	
12 火	栄農協	掛泥	高野尻、高野尻団地
13 水	//	摩当	李岱、下大沢、岩沢
14 木	//	太田	田沢
15 金	三ノ渡会館	上舟木、明利又、黒森、松沢	与助岱、三ノ渡
16 土	葛黒林業センター	大畑、葛黒	

※ 2月18日は今泉、20日は七日市に変更になります。

（6月） 施設花だん等道路花
だんづくり
（7月・8月） 各地区巡回指
導、審査。
（9月） 先進地視察研修（雄
和町予定）及び交流会
（10月） 第二回目の巡回指導
及び審査
（10月下旬） 花だん整理、導
路花だん撤去
（11月上旬） 全町花いっぱい
運動コンクール表彰式

婦人リーダー研修会 に参加しましょう

全町の婦人学級、若妻学級の
リーダーを対象に、研修会を
実施します。
楽しく、意義ある学級づくり
のため、是非参加ねがいます。
▽日時＝二月十八日（月）午後
一時三十分から

▽場所＝中央公民館
▽対象＝各学級代表者（必ず
一人は参加させてください）

なお、事務局（中央公民館
62-1130）では、花いっ
ぱい運動推進のための「標語」
を募集しています。

郷土史年表

97

昭	和	時	代	西 暦	年 号	事 項
		一九七二		一九七〇	昭和四五	○十一月十七日 ライオンスの森碑除幕式 ○十一月二十日 鷹巣女子学院創立二十周年記念式と校舎落成式 ○十一月二十五日 作家三島由紀夫割腹自殺 ○十一月二十八日 読書会が全国読書運動推進協議会から優良団体として表彰される ○十二月十九日 北部学校給食センター竣工式 ○十二月二十二日 鷹巣警察署新庁舎で就務開始 ○十二月二十七日 町営葬祭場竣工式 ○一月二十五日 前綱・中綱地区が町名を「あけぼの町」と決める ○二月七日 上舟木道路愛護会が全国表彰をうける ○二月十六日 町社会福祉協議会が法人化する ○四月一日 坊沢、七座、黒沢、緑ヶ丘の四小学校が統合し、町立西小学校として発足する ○四月一日 「森館町」発足 ○四月一日 県知事選挙・小畑勇二郎当選 県議会議員選挙、北林照助成田重右衛門、庄司孔一、大沢清治当選 ○四月二十五日 町長選挙、出川禮一当選 町議補欠選挙 久留島清吉、佐藤勉、高橋祐三郎、当選

新入図書紹介 ご利用ください

公民館付属図書館



中央公民館付属図書館には今
二二、九六九冊（五九・一二・
三一現在）の本があります。
そのうち、今年度になってか
ら購入または寄贈により新しく
入れた本が五三二冊ですが、そ
の中から若干紹介します。

いま話題の本

おとな向きの本としては、今
話題の本を紹介すると、
「トットちゃんネル」●黒柳
徹子著。「双影」●芥川龍之助
と夫、比呂志・芥川瑠璃子著。
「冥府回廊上下」●杉本花子著
NHK大河ドラマ「春の波濤」
の原作。「この世をば上下」●
永井路子著・菊地寛賞受賞作。

「新しいしつけの常識」●田中
澄江著。「天璋院篤姫上下」●
宮尾登美子著。「ここ過ぎて」
●白秋と三人の妻●瀬戸内晴美
著。「中国生活誌」●黄土高原
の衣食住――。

日本の文学・近代編

全八七冊になっていますが、
いま入っているのは二九冊。
明治から現代まで、日本の文
学を代表する作家の代表的な作
品を厳選して収録しています。
大きめの活字を使って老眼の
方にも読みやすくなっています。

日本生活文化史

日本人の生活文化の流れを、

先史―古墳時代から現代まで、
豊富な図版とわかりやすい文章
で綴っています。全一〇巻の新
しいタイプの歴史シリーズです。

宗教関係の本

鈴木大拙全集など膨大なもの
がありますが、平易なものでは、
幼児向け絵本三五冊と、大人向け
つぎのようなものを入れました。
「仏教説話大系」全二〇巻、は
「釈尊の生涯」●ジャータカ物
語●「高僧伝」などが内容。
「図説大聖書」全六巻、●聖書
にまつわるキリスト教関係の写
真と平易な解説文です。

児童書絵本

児童書一三六、幼児向け絵本五
七冊入れました。その中から、
紹介します。

「はじめてであう すがく
の絵本」●遊びの中からの発
見と創造。「一四ひきのひつ
こし」●絵本日本賞受賞作。

「学研まんがひみつシリーズ」
一八冊と「紙芝居」一四冊。

「ぼく日本人なの？」●中国残
留孤児の日本語学級の先生と子
供たち。おとときとつねと栗の
花」●「青葉学園物語 翔ぶん
だったらいま」●「子どもの
生活ごよみ」全一二巻。「小学
生の生活習慣・こんなときどう
する」全六巻。「ポプラ社の工
作シリーズ」全二〇巻。

ふるさと 人物伝

(82)

佐藤 音吉
さとう おときち

一八六四―一九二八

あれは、私が坊沢小学校に
通った三年生の時のことだが
ら大正から昭和に変わる年で
あったと思う。父が勤めてい
る役場に行くと、白いヒゲを
はやし、羽織、袴をつけ、き
ちんとした姿の村長さんがい
たことを思い出す。

風ぼうも立派だが人徳もあ
り、明治、大正、昭和にかけ
て村長をつとめ、遂には現職
のままこの世を去った佐藤音
吉氏は、坊沢村太平時代の基
盤をつくった方といえよう。
音吉は元治元年、坊沢村字
八二番地、七十郎の長男とし
て生まれる。

明治十三年、坊沢学校四年

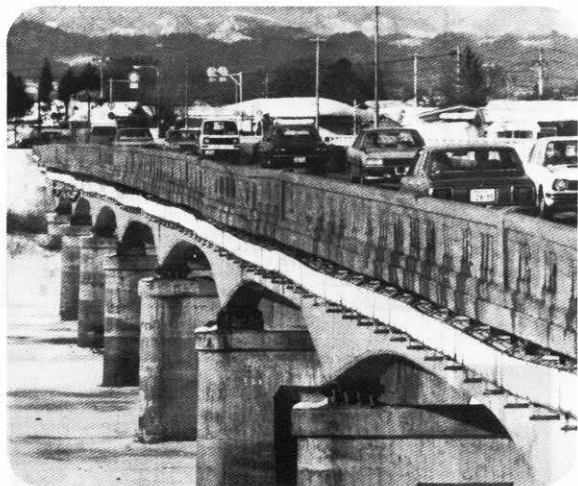


を修業、成績優秀のため教師
の補助員となる。その後教員
試験に合格、訓導となり荒瀬
小、鷹巣小学校を歴任する。
明治十六年には、大野尻、大
向、蟹沢に初めて民家を借り
ての巡回授業所ができるが、
その巡回指導をしている。
一時宮林署主事補となるが再
びもどって坊沢小につとめる。

明治三十五年、坊沢村助役
となり四年勤め、同三十九年
から村長に当選、大正十一年
まで十六年間勤める。ときあ
たかも、日本の国全体が近代
国家として生れかわるために
次々と新しい組織機構のでき
る時代で在任中の主なること
を拾ってみると……

義務教育が四年から六年に
なりそのための校舎増築、消
防組設置、婦人会創設、分教
場の移転新築、信用組合創設、
小学校の火災による移転新築、
高等科併置等々ある。彼は坊
沢村基本財産蓄積条令を定め、
植林をすすめる村財政の健全化
をはかる。

大正十四年、再び村長に就
任するが昭和三年、現職中に
死去する。坊沢村最後の村長
佐藤啓喜氏は彼の息子である。
(坊沢郷土誌、永井清一氏談)
による) 文責 長崎 久



正月から米代川が全面凍結

鷹巣地方は、昨年暮の25日から1月18日まで、ほとんどが日中の最高気温が氷点下という真冬日となりました。これは北極圏から日本列島に流れ出した、マイナス40度前後の寒気団が五千メートル上空に居住っているもので、東北地方はすっぽり冷凍庫のなか。町の古老も正月前から米代川が全面凍結するとは、あまり記憶にないとのことでした。



第3回全国都道府県対抗女子駅伝は、1月20日午後零時半、京都市の西京極運動公園を発着点として行わ

れましたが、当町からは県代表して3中学生が出場。総合では38位とふるわなかったものの7区・相馬祐貴子選手(鷹中…左)は37位、8区・前田朋恵選手(鷹中…右)は38位となり、補欠の藤本弘栄選手(南中)とともに、京の都路にフレッシュな話題を提供。

女子駅伝で中学生トリオ健闘



雪中田植えて豊作を祈念す

その年の作柄を占う小正月行事の「雪中田植え」が、雪の降る1月15日、綴子上町・高橋佐一郎さん(83)宅の畑で行われました。この行事は豊作を願って各農家で実施されたものですが、昭和18年頃を境に姿を消していました。高橋さんは、冷害を克服しようと一昨年から復活させたもので、3.3平方メートルの雪上に稲ワラと豆がらの苗16束を植え、豊作を祈願していました。

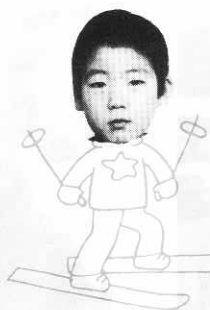
アフリカでは、干ばつによる食糧難から多くの死者を出しており、世界各国から救援の手が差しのべられ

ています。鷹巣保育園(野口恵美園長)では、アフリカの難民に役立ててほしいと、園児たちが家で眠っている小銭を集めていましたが、このほど園児の代表が役場を訪れ、集まった22,042円を日赤鷹巣分区分を通じ寄付されました。

アフリカの難民を救済して



の広場



ほりべまさしくん(5歳)

竜森保育園



今回のテーマ 『集落の自治について』

豊かな地域づくり



沢口自治会会長
中林 藤吉郎(70)

昔の農村集落は、生産を中心にした共同体的慣習により行ってきた「ヨイコ作業」「農休日」重点作業は隣組共同で終ると、さなぶりや御祝いで貧しいながらも楽しかった。
しかし今の集落は高度経済成

長から激変し、都会並の混住化の姿となつて、生産生活の学習よりも我が家の生活のため農外収入に頼らないといけない時代となり、協同意識、連帯性共に低下している。
公民館活動の目玉である豊かな地域づくりの呼びかけもままならず、昭和五十三年各集落会長の連絡会をつくり、悩みを持ち寄り、地域の課題として徐々に改善されております。
全地区の祭典の統一、各種スポーツクラブの設置、青空市場の開設、会費制の結婚式の普及、

対談 親の意見・子供の意見



ハイイ ヌガヤ

イヌガヤ科

山地は生える常緑低木。イヌガヤの変種で多雪地の日本海側に多い。果実は大形で淡い赤紫色に熟す。山村の子どもはショウブと言って食べたものだ。森吉付近ではキツネモロビと言う。

(南小学校 晶山 益穂先生)

わたしの自慢こ

みんなの努力で農林水産大臣賞を受賞

標沢農事実行組合代表・佐藤 甚一(四七)

優秀賞という輝かしき賞を受け、仲間一同光栄に思い、感激で胸が一杯です。

当農事実行組合は、先代の方々が数多くの実績と伝統を残し、農業の基礎をがっちり築いて下さり、その伝統を守り先輩の力強い指導と協力を得て活動した事が認められたものと思います。

米増産時代から減反と大きく揺れ動く農政の中で、農機の計画的導入と共同利用、水稲、肉用牛、菌茸類と、安定複合経営を進め、転作田は互助

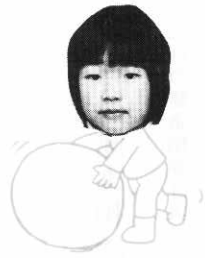


制度と団地化を図り、畜産農家と連携し土地の高度有効利用と肥沃化を図っています。基幹作物の稲作も常に増産を目的に、春は全農家の育苗土検定、育苗品評会、各自研究田設定、現地講習会、坪刈会と増収熱意も過熱ぎみとなっています。役員も特訓勉強会を開き常に知識習得に勉め率先して事業に対応出来る姿勢を整えています。生産活動と自治会活動が歩調を合せユニークな文化祭を毎年行い、農産物生活用品の展示のほか、満腹無料食堂、面白自慢

一番大会、金婚さんいらつしやい、作業現場撮影ビデオ、のど自慢大会と会場は爆笑の連続です。今後も生産と文化活動をつ結び付け、集落全体の融和と連帯性を図り、村づくり活動に励む事を、我々一同は強く心に誓っています。



竜森保育園
はたけやまみちゃん(5歳)



みんな

葬式、病氣見舞に対する返札の廃止等は七十暫位まで実施されています。

現在の課題は、壮年、婦人部組織の強化、集落自治会長、各団体の代表でつくる運営委員会を基本に、住みよい地域づくりに努力したいと思っています。

黒沢番楽の復活を



黒沢 久悦(34)

黒沢集落は、戸数二十二戸、住民八十人余の小さな集落です。当集落には、三百年も続いた郷土芸能「黒沢番楽」がいまでも

残っておりますが、ここ何年か活動を停止している状態です。

現在、集落の人々の楽しみはさなぶり運動会ぐらいで、この行事も少数の人が出て楽しむ程度。集落の人々全員でという集まりが少ない。自分も含めてなんとなく、まとまりがないように思われ、都会の風情を感じる時があります。「俺には関係ない」「好きな同志でやれば」等、そんな中にも「番楽はどうなったのだ」と言う声が聞かれます。三百年の伝統は心のやすらぎやよりどころなのだろう。たとえ少数でも村の郷土芸能「黒沢番楽」の復活に取り組んで行きたいと思っています。きっと皆が参加してくれることを信じて、活動の一步をたどりたい。

広報のしおり

成人病予防週間

二月一
から七日ま

では成人病予防週間です。昭和三十四年に設定され、成人病のひとつである脳卒中が特に二月に多いため、この時期に実施されています。

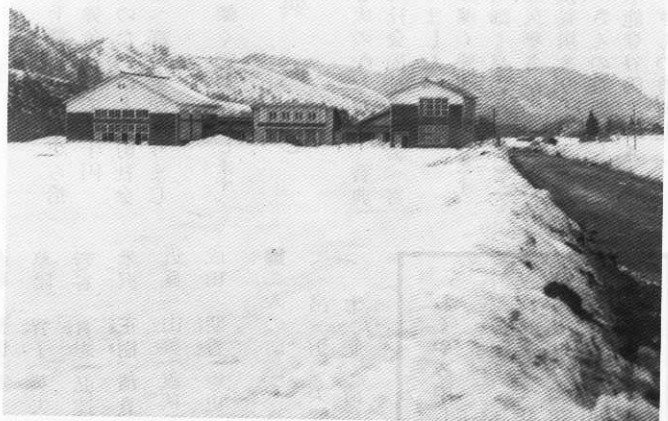
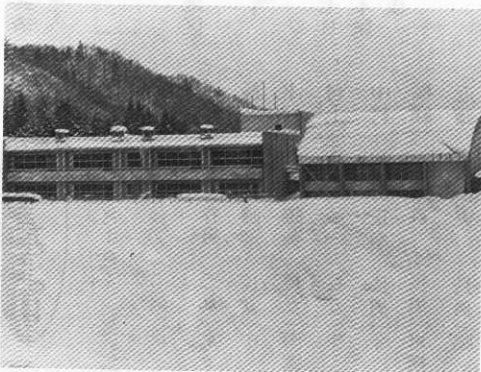
がん、脳卒中、心臓病などは、国民の死因順位の上位を占め、死亡者数も上昇の一途をたどっています。しかも、これらの成人病は、家庭的にも社会的にも

重要な役割を担う年齢層に多いことから、家庭や社会の受ける損失は少なくありません。

また、我が国は今後高齢化が進み、成人病にかかりやすい年齢層が増加するため、成人病予防対策の充実が国民の健康を増進する上で大きな課題です。

当町でも、毎月(二月は十三日と二十七日)成人健康相談を行っております。自分の健康状態を正しく知っておくことは、健康に対する基本的なことです。年に一回は、健康診断を受けましょう。

写真の竜森中学校は、昭和41年3月31日付けで南中学校に統合し、翌年3月まで竜森校舎として存続。その後解体されましたが、48年2月に同地に竜森小学校(葛黒小と統合)が完成しました。現在では敷地の一部に竜森保育園も建てられ、地域のコミュニケーションの場にも活用されています。



たかのすの昔

おしらせ



「健康衛生課」より 大野 二氏

二月の健康相談

二月の健康相談は次のとおりです。

成人健康相談は、十三日と十七日です。

時間は午前九時から午後三時まで、血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、四日と十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、妊婦検診、検尿、体重測定など行います。

毎週月曜日には母子手帳を交付します。

一歳六ヶ月児健康診査は十四日、五十八年六月、七月生まれとなっています。

受付時間は、午後0時半から一時まで、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

フットボール選手の子供は、十四日です。

時間は、午後一時半から三時まで。対象者は三歳児以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

児童健康相談は、二十一日、五十九年七月生まれとなっています。

受付時間は午前九時半から十四時まで。

児童健康相談は、二十一日、五十九年十月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで、おいでの時は母子手帳とバスカードを忘れずにお持ちください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で行ないます。

農業センサスにご協力を

全国的に調査される一九八五

年農業センサス（国勢調査）が実施されます。

この調査は五年毎に行なわれ、国、県および市町村における農業行政諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。

特に農家数、農家人口など、農業の基本的事項について把握するものですので、農家のみなさんのご協力をお願いします。

交通災害共済に加入しましょう

交通災害共済は、万一事故にあったとき、簡単な手続きですぐ見舞金がもらえます。

これまでの交通災害共済に加えて「不慮の災害共済制度」もはじめました。この制度は交通事故を除く災害、作業中の事故から自然災害まで対象となります。共済金は一等級（死亡）二等級（重度障害）をお支払いいたします。

これまでの交通災害共済同様不慮の災害共済にも「奨学援助金制度」が付いており、共済掛金は、交通災害共済不慮の災害共済それぞれ一人年額三百円です。この二つの共済制度に加入する場合は合せて六百円となります。

加入ご希望の方は、二月一日から受付いたしますので、役場町民課福祉係（電話二二一一一）内

線（二五）へ申し込みください。現在加入している方も、共済期間が三月三十一日で終了します。

停電のお知らせ

二月の作業停電は、次の地区です。

▽13日 太田、掛泥、高野尻、（午前九時から午後一時）
▽18日 脇神、上野、小森、七日市本郷、中屋敷、横瀬、根木屋敷、四渡（午前九時から午後一時）

善意

▽花園町 千葉キヨさんから拾得金の報労金として三千円
社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽七日市大畑 畠山小八郎さんから亡父久孝さんの香典返し
元町 長谷川まり子さんから亡夫久一さんの香典返し

▽新田中 能登谷陽之助さんから故サトさんの香典返し

慶弔だより

1月1日～1月15日
誕生おめでとうございます

近藤 愛夕（春男）	二女 堂ヶ岱
長岐 貴子（勝）	長女 中畑
津谷 明日香（勝美）	長女 南鷹巣
村上 亜裕子（誠一）	長女 掛泥
中村 和帆（正幸）	長男 今泉
桜庭 一輝（貢）	長男 東横町
近藤 雄也（実）	長男 脇神
近藤 雅也（実）	二男 脇神
草階 智子（英夫）	長女 掛泥
岩谷 貴志（弘達）	長男 松葉町
米沢 正樹（清貴）	二男 新舟見町
近藤 由美（義秋）	二女 東横町
成田 朋香（憲史）	長女 宮前町

■二人の前途を祝福いたします

畠山 美智幸 綴子大畑
土肥 清子 合川町

おくり申しあげます

宇佐美忠助（43歳）摩 当
三沢喜美雄（48歳）大 堤
佐藤 ヨコ（78歳）下 町
神成 徳松（80歳）小 森
九島与治郎（88歳）東横町